



Nsports

本校で行うスポーツ活動全般を「Nsports」と呼び、様々なスポーツにトライしています。



自分に合ったプログラムで活動できる、個性を生かせる体育授業。様々なスポーツを学び、経験することで、楽しさや喜びを実感し、自信につなげることを応援する。これが本校の教育スタイルの1つです。

3 情操教育

芸術、ダンスなど様々な学習を通して豊かな感性を養う



豊かな感受性を養い、充実した生活を送る目的で芸術(音楽・美術)などの授業を行います。校舎3階ワンフロアすべてが情操教育に対応した特別教室を設置しています。自分の興味関心を最大限に生かせる空間として、授業だけでなく休み時間等も利用できます。

屋内走路 (NARS(ナース)) 国内最大級の室内走路



150M×4コース
天候を気にすることなく本格的な陸上トレーニングができます。

寄宿舎



合わせた指導および道徳

各教科別の指導	保健体育	単位数
	数学	1
教科等を合わせた指導	英語	1
	情報	1
領域別的学习	作業学習	8
	自立学習	4
総合的な探求の時間	芸術	2
	日常生活の指導	5
合計	自立活動	1
	特別活動	1
合計		35

自立活動:自立活動と国語や理科・社会等の教科を合わせて行う

芸術:音楽と美術、自立活動を合わせて行う

作業学習:職業と家庭科、自立活動を合わせて行う
日常生活の指導:SHR・更衣・給食準備・片付け

本校は、学校教育方施行規則130条2による各教科等を合わせた教育課程を編成しています。

学費について

入学時手続金	入 学 金	150,000円
学 費 (月額)	施設整備負担金	150,000円
	授 業 料	33,000円
	給 食 費	10,000円
	寮 費	30,000円
寄宿舎費用(月額)	食 費	30,000円

※その他諸経費として、年間約30,000円を予定しています。

※2年次・3年次進級時に、施設整備負担金50,000円を納入していただきます。

学費をはじめ、生活費や自宅への帰省費など、様々な面の金銭の負担が軽減または補助される制度があります。

詳しくは本校までお気軽にご相談、お問い合わせください。

[授業料等の負担軽減]

国の就学支援制度・北海道の私立学校授業料軽減制度

一定の収入額未満の生徒の世帯に対して、授業料等に充てる支援金を国及び北海道が支給し、家庭での教育費負担を軽減する制度です。返済は不要です。

就学奨励費

障がいのある生徒の教育関係経費について、世帯総所得により、保護者の負担を補助する仕組みです。支給は保護者の申請に基づき行われます。

網走市からの入学支援補助金

北海道網走市のまちづくり事業として、本校保護者の入学時の経済的負担を軽減するため、入学確定後に入学金の150,000円を支給する制度です。

学校法人 日本体育大学 日本体育大学附属高等支援学校

Educational Foundation of Nippon Sport Science University Group

〒093-0045 北海道網走市大曲1丁目6番地1号

TEL : 0152-67-9141 FAX : 0152-67-9142

E-mail fuzoku.info@s-nittai.ed.jp



<http://s-nittai.ed.jp>

日体大附属 検索



Facebookに
アクセス



日本体育大学 附属高等支援学校

生きる力を培う 3つの柱

スポーツ・労作・情操の3つの柱で、
基本的な生活習慣を身に付けた
生徒を育成します。

1 スポーツ教育

体育、部活動を通して、たくましい体、健やかな心を育む。



週10時間(年間350時間)保健体育の授業を行います。

全生徒が器械体操や球技、武道など

を学び、体力や健康、ルールとマナーを守る姿勢を身に付けます。

また、専門的な技術の習得や

陸上、卓球、水泳の各競技の高体連大会での活躍を目指し、Nス

ポーツタイムの授業を行ってい

ます。スポーツ施設も充実しており、2つある体育館には柔道場やト

レーニング機器を完備し、屋外グラウンドをはじめ、国内で2例目と

なるオールシーズン対応の150m直線走路があります。

2 労作教育

作業実習、就労実習を通して働くことの楽しさ、尊さを培う



週8時間(年間280時間)作業学習(農業・園芸・木工・環境サービス・陶芸・受注・陶芸等)の授業を行います。この授業では卒業後の社会自立することを目指し、様々な体験的学習活動を通して得意なことを伸ばし、不得意なことを克服することで、自信へとつなげることを目的としています。

校舎紹介



校舎



第一体育館
第二体育館



グラウンド
コミュニケーションホール



実習室

2023
SCHOOL GUIDE
NITTDAI
Educational Foundation of Nippon Sport Science University Group

生徒一人ひとりの「やりたいこと」を実現する。



卒業後の進路ご紹介 (一例)

主な進学先

- ・札幌スポーツ＆メディカル専門学校・ヒューマンアカデミー横浜校
- ・オホーツク社会福祉専門学校介護福祉科
- ・道立北見高等技術専門学校建築技術科・興学社高等学校
- ・道立札幌高等技術専門学校食品加工科 北海道はまなす食品能力開発センター
- ・釧路理容美容専門学校・道立障害者職業能力開発校
- ・東京リゾート＆スポーツ専門学校・名古屋市立中央高等学校
- ・北海道エコ動物自然専門学校・オホーツク社会福祉専門学校
- ・釧路高等技術専門学院・釧路工業高等学校定時制



主な就職先

一般就労

- ・塙建設株式会社・株式会社健誠社・東急建設株式会社
- ・北見食品工業株式会社・株式会社寝屋川興業・株式会社二階堂
- ・高橋建設株式会社・株式会社北海永徳・佐野自動車工業株式会社
- ・株式会社ゴジョウ・ウェイズ・株式会社八洋・自衛隊
- ・有限会社シンテック・北海道コカ・コーラボトリング株式会社
- ・有限会社道環・特別養護老人ホームはまゆう
- ・有限会社北光興産・NPO法人北見冬季スポーツ振興会
- ・株式会社日比谷花壇・NPO法人遠軽町スポーツ協会
- ・リアジャパン オペレーションズ・株式会社レオック
- ・株式会社北海道健誠社・学校法人日本体育大学・株式会社SOU
- ・バーソルサンクス株式会社・夢工房・クリアライフ・網走ビール株式会社
- ・株式会社ウエニシ・大和谷工業株式会社・エリクソン・ジャパン株式会社
- ・札幌国税局 業務センター函館分室・株式会社カネダイ大橋牧場

福祉的就労(A型・B型、移行支援)自立訓練

- ・ヒューマンエクサート・㈱ちから カレーのちから
- ・多機能型事業所インカル・エゾモモンガ
- ・職業訓練システムコスマス・NPO法人サラン
- ・津別町手をつなぐ育成会つむぎ・美幌えくぼ福祉会えくぼ
- ・社福・永春会プレジール秋桜・C&Cウェルフェア
- ・くしろジョブトレーニングセンターあらんじえ
- ・NPOライズ・就労促進センターはのへ・サンライズヨビト
- ・NPO法人てくてくカフェギャラリーでくてく
- ・ゆたかカレッジ高田馬場・ゆたかカレッジ長崎
- ・NPO法人堺自立支援センターユニオン・アットホーム
- ・パン工房 リスピード・株式会社Heart beat ハートステーション
- ・ビース第II新横浜

卒業した先輩からのメッセージ



専門学校に進学し、国家資格
(介護福祉士)を取得しました!



専門学校に進学し、国家資格
(理容美容)を取得しました!



定時制高校に進学し、資格を取るために
専門学校へさらに進学しました!

一期生【阪野 和也】

卒後の進路を考えた時に介護の仕事に興味があり、先生や両親から後押しでオホーツク社会福祉専門学校へ進学することになりました。入学当初は介護について内容が分からず、不安でいっぱいでした。コミュニケーションが苦手な私は介護実習で緊張してしまい、利用者さんになかなか声掛けられませんでした。しかし、実習や教科を通して理解を深め『介護福祉士』の国家試験に合格することができました。いまはコミュニケーションを大切にして、利用者の方々と会話を楽しむながら仕事を頑張っています!

父親が理容業を営んでいたこともあり、その姿を見て『自分も理容師になろう!』と思い釧路理容美容専門学校に進学しました。入学当初はコミュニケーションがうまく取れず悩んだり、国家試験への不安もありました。時間と共にコミュニケーションを取り取れるようになり、カットの技術はたくさん練習するうちに身に付き、大会でも結果を残すことができました。現在は店舗で働きながら、アシスタント業務を行い、閉店後からシャンプーや電話対応の練習に励んでいます。早く一人前になれるように、これからも努力していきます!

僕はアスレティックトレーナーの資格を取るために専門学校へ入学しました。将来的夢はスポーツ選手や怪我で困っている人を笑顔にするトレーナーを目指しています。自分が周りの人から沢山助けてもらったりこともあり、次は自分が誰かを助けたいと思って日々勉強に励んでいます。いま将来の夢で悩んでいる人、夢になれるものを見つけてほしいと思います。努力は夢中に勝てない、僕はいまアスレティックトレーナーに夢中です。夢と自信を持って頑張ってください!



フィールド 学習は北海道の 大自然が教材



本校の学習カリキュラムで行っている自立学習や総合的な探求の時間に机上で学習した内容を元に、実際に目で見て、肌で感じる学習を月に1~2回程度実施しています。本校所有のマイクロバスを使用し、北海道オホーツクの大地を駆け回ります。世界遺産『知床』をはじめ、大自然を満喫できる壮大なスケールの学習活動です。

生徒の 1日



共同生活を通じて、コミュニケーション能力を養い、社会参加するための基礎を身につけます。

寄宿舎は校舎と併設しているため、安全に登下校を行うことができます。また、下校時に負担がないことから、勉強や部活動にも集中しやすいでしょう。指導員が常に控えており、万全のサポート体制を敷いています。

寄宿舎では、学校生活や部活動での疲れを大きなお風呂で癒し、広いラウンジで学年問わず交流を深めております。また土・日・祝ともに開舍しており、様々な地域行事(ボランティア、祭り、スポーツ観戦)や生徒自ら企画したイベント(バーベキュー、菓子パン作り、将棋大会、花火大会)を開催して日々楽しく過ごしています。

生徒の 1年 主な行事

春

入学式
(4月)



高体連集約大会(5月)

夏



宿泊研修(6月)

秋



現場実習(9月)



修学旅行(11月)

冬



スキー学習(2月)

